

# 2013年1月1日～2022年8月31日の間に福山市民病院外科において胃癌の治療を受けられた方へ

## —「当院での腹腔鏡下幽門側胃切除術における新三角吻合の治療成績の検討」へご協力をお願い—

当院では以下の臨床研究を実施しています。この研究は、当院倫理審査委員会において倫理的および科学的に問題がないか審査を行い承認され、院長の許可を得ています。ご理解とご協力をお願いいたします。

研究機関名 福山市民病院 外科  
研究責任者 福山市民病院 外科 科長 近藤祐平  
研究分担者 福山市民病院 外科 科長 香川哲也  
福山市民病院 外科 統括科長 浅海信也

### 1. 研究の概要

#### 1) 研究の背景および目的

早期胃癌における腹腔鏡下幽門側胃切除術（以下、LDG）は胃癌治療ガイドラインで推奨され、多くの施設で導入されています。また腹腔鏡下胃切除術における体腔内吻合は、体外吻合と比較し体型に左右されない良好な視野での安定した手技と吻合部関連合併症リスクが低く安全性のメリットがありますが、手技のエッセンスを理解することが重要です。LDGにおける代表的な体腔内Billroth-I（以下、B-I）再建は、デルタ吻合といい、治療成績に優れた非常に安定した方法です。その後新しい体腔内B-I再建としての新三角吻合も、手技が簡便で虚血域がない安全な吻合手技として広く知られています。当院では、2013年から新三角吻合を導入、施行しており、新三角吻合の手術手技ならびに治療成績について後向きに検討したいと考えています。

#### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

腹腔鏡下幽門側胃切除後の新三角吻合の手技ならびに治療成績を検討することで、より安全な手術手技の発展に寄与すると考えます。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

2013年1月1日～2022年8月31日の間に福山市民病院外科においてc StageI胃癌に対し腹腔鏡下幽門側胃切除術、新三角吻合の治療を受けられた方229名を研究対象とします。

#### 2) 研究期間

2022年10月31日（倫理審査委員会承認後）～2023年3月31日

#### 3) 研究方法

2013年1月1日～2022年8月31日の間に当院においてc StageI胃癌に対し腹腔鏡下幽門側胃切除術、新三角吻合の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに上記手術データを選び、その手技と成績を分析します。

#### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの病院ID、氏名を取り除き、研究用の番号を付して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

年齢、性別、病理学的因子、手術時間、出血量、郭清個数、吻合時間、術後合併症、術後在院日数、内視鏡所見

#### 5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、福山市民病院医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページに掲載してお知らせします。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報かわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2022年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

福山市民病院 外科 近藤祐平  
電話：084-941-5151